



# ふたりの時間

**DOJIN**  
**R18**  
成人向け

18歳未満の  
購入・閲覧禁止





いいよ、私と  
なぎさちゃん  
で片付けるから。

また何時でも  
いらつしやい。



お茶もケーキもすごく美味しかったです。  
なんかすみません、片付けずに  
帰っちゃって…



もおくさやかちゃんってば…  
じゃあまたね  
なぎさちゃん、マリンさん！



じゃあお言葉に甘えます！  
お邪魔しましたー。  
なぎさー、マリンさんをあまり  
困らせるなよお？



じゃあまたね。  
佐倉さんにもよろしく言っておいて。



フフ、ちゃんと  
手伝ってくれるわよね。

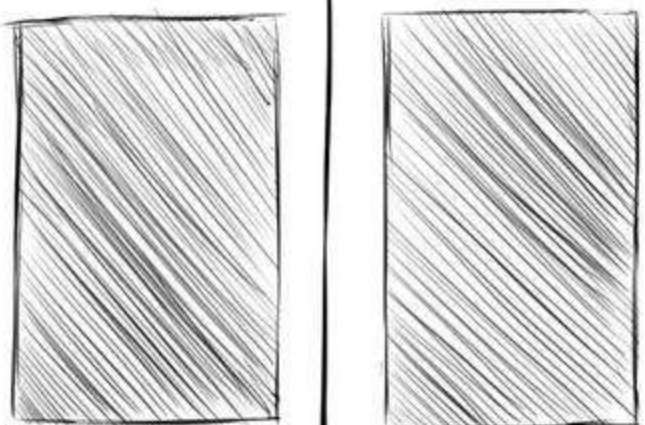
むう、そんな事ないのです！  
ちゃんと一緒に片付けるのです！

マミとみんななどのお茶の時間  
なぎさはとっても楽しいのです。



歳は離れてるけど、  
さやかもまどかもとっても優しくて  
大好きなのです。

大好きだけど  
そんな二人にも秘密にしてる  
事があるのです。



それはマミとの  
秘密の時間。

ふたりっきりの

大好きな時間。





ふう、やっと  
終わったのです。

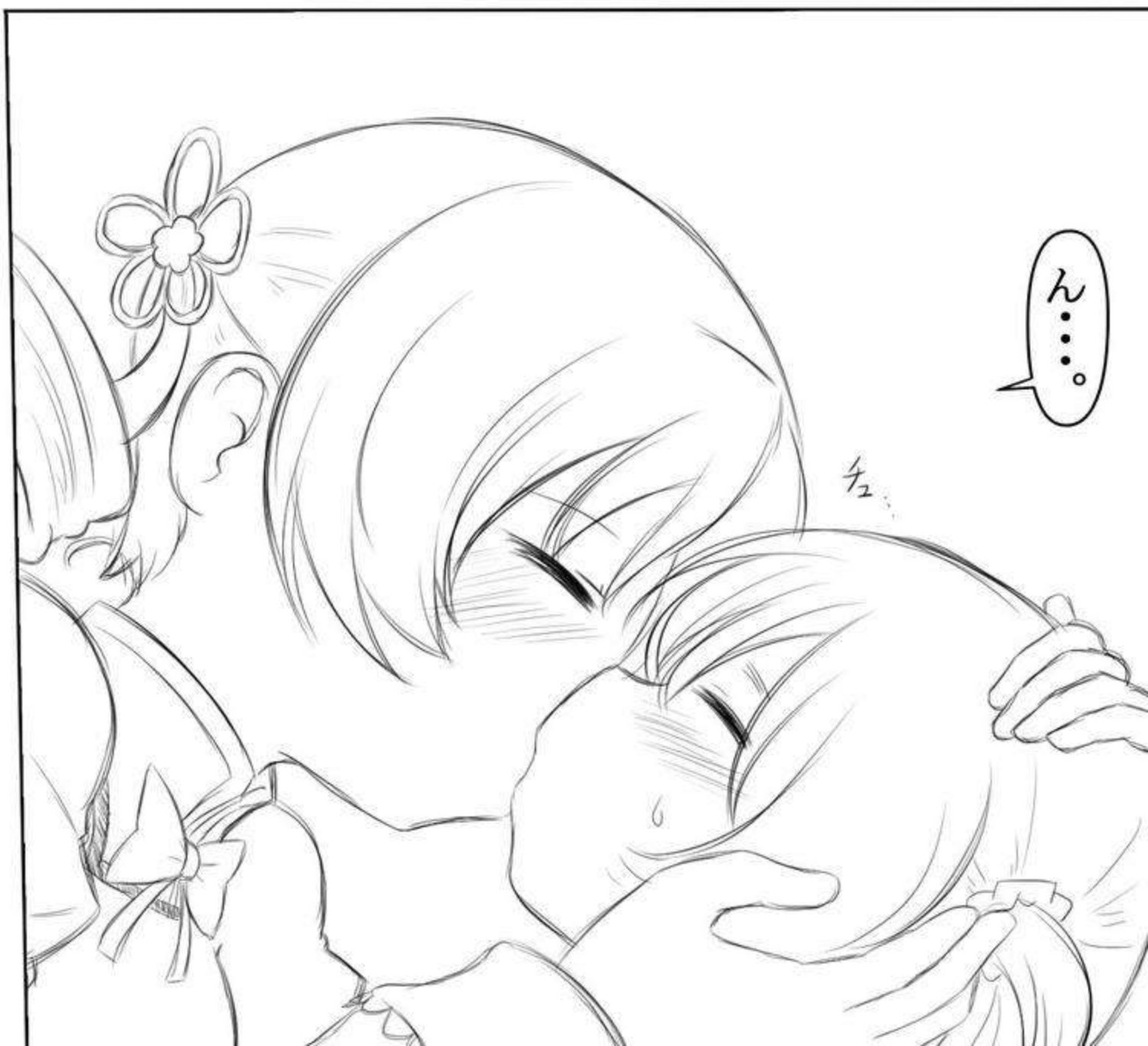
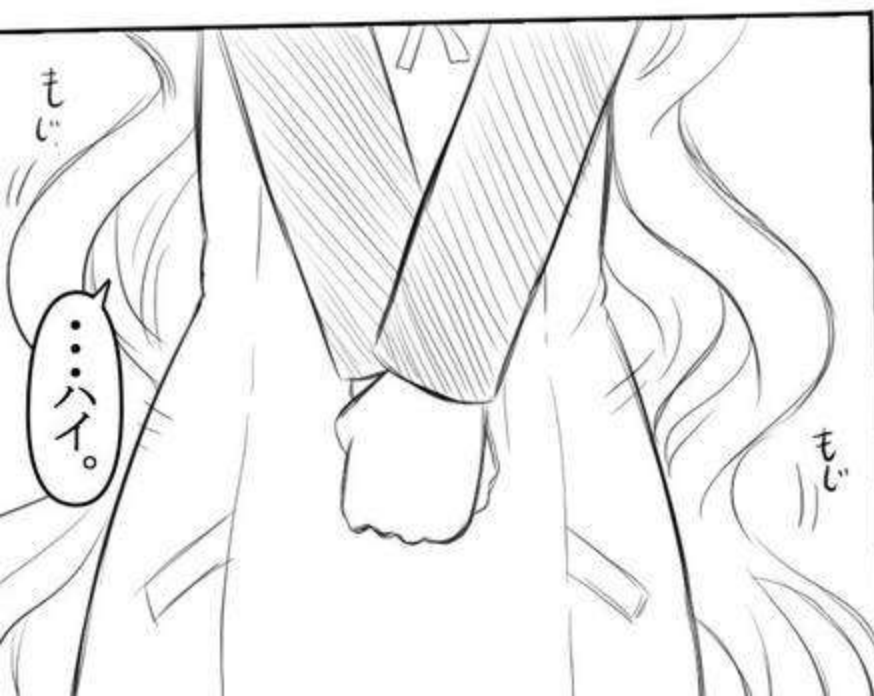
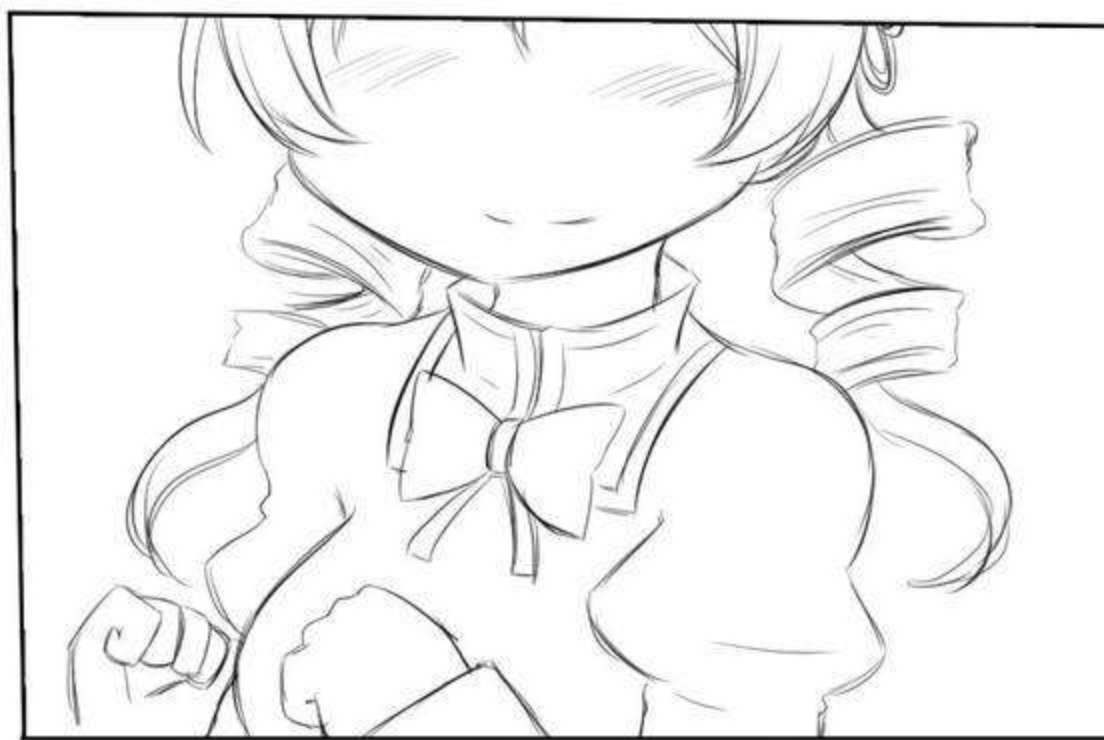
ご苦労様  
洗い物のお手伝い  
ありがとうございます。

それにしても  
まどかはほむらの話  
ばかりするのですね。

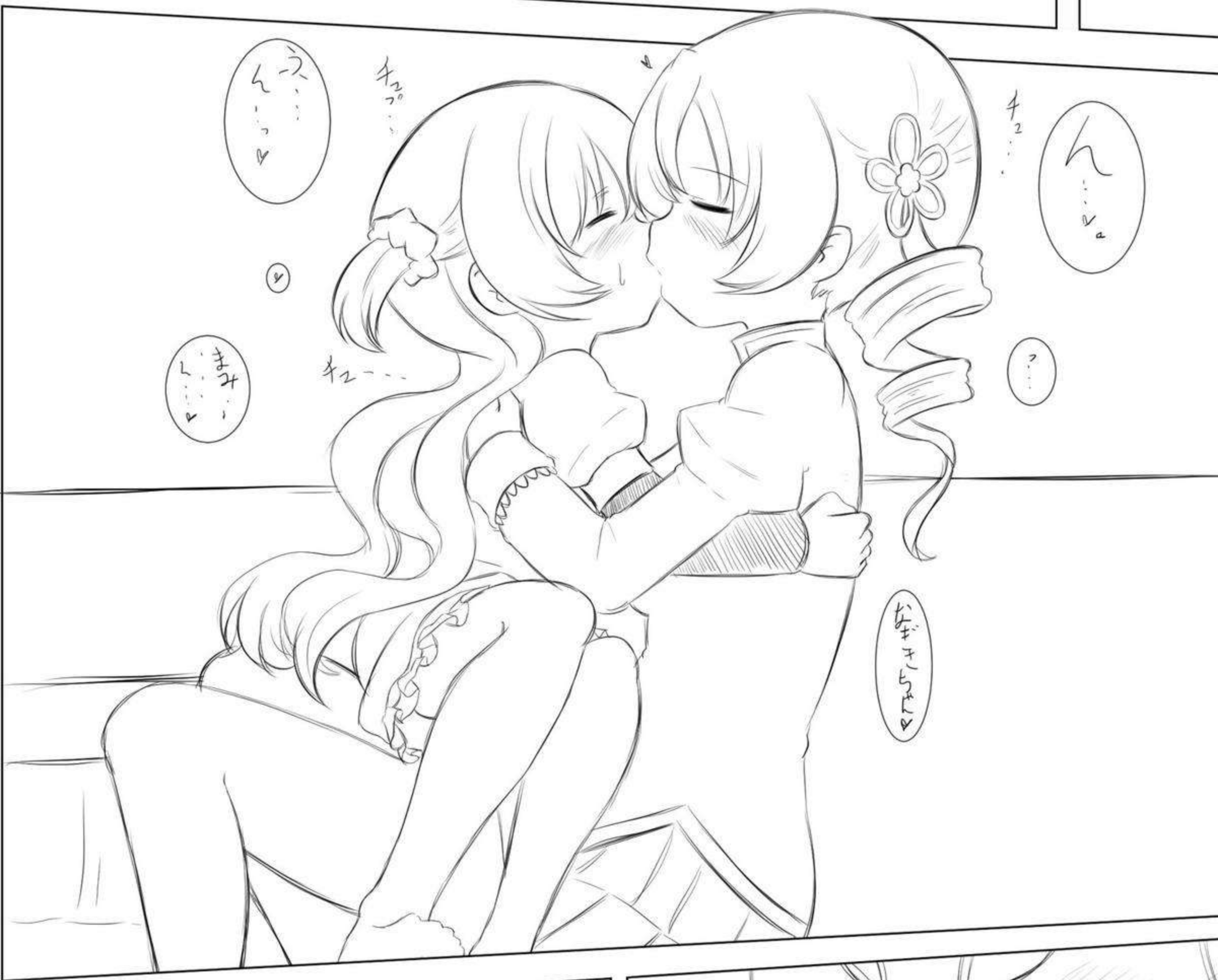
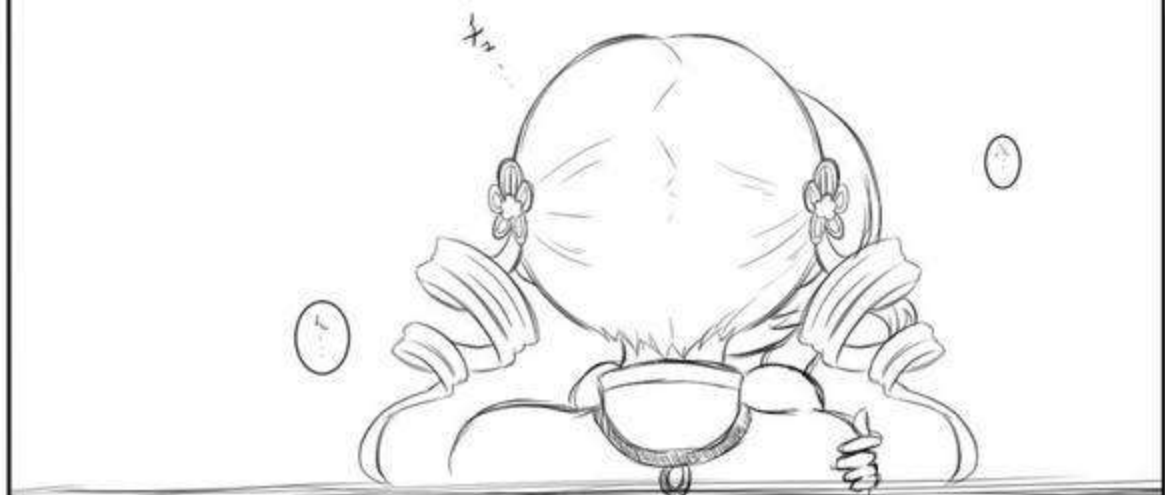
そうね、どうせなら  
暁美さんも呼んでみましょうか。

人が増えたら  
次からケーキはホールで  
出しましょうか  
にぎやかでとつても……

!













なぎさちゃん

・・・仕方ないわよね。  
このままじゃ  
苦しいだろうし  
可愛そうだわ。

ずっとキスで  
誤魔化してきたけど  
・・・いいのかしら、  
まだ小さいのに。



キスだけじゃ  
満足できなくなつて  
きちやつたのね・・・



ムヘ!?

ナデ  
ナデ

ママ!!  
どう触って...



サス



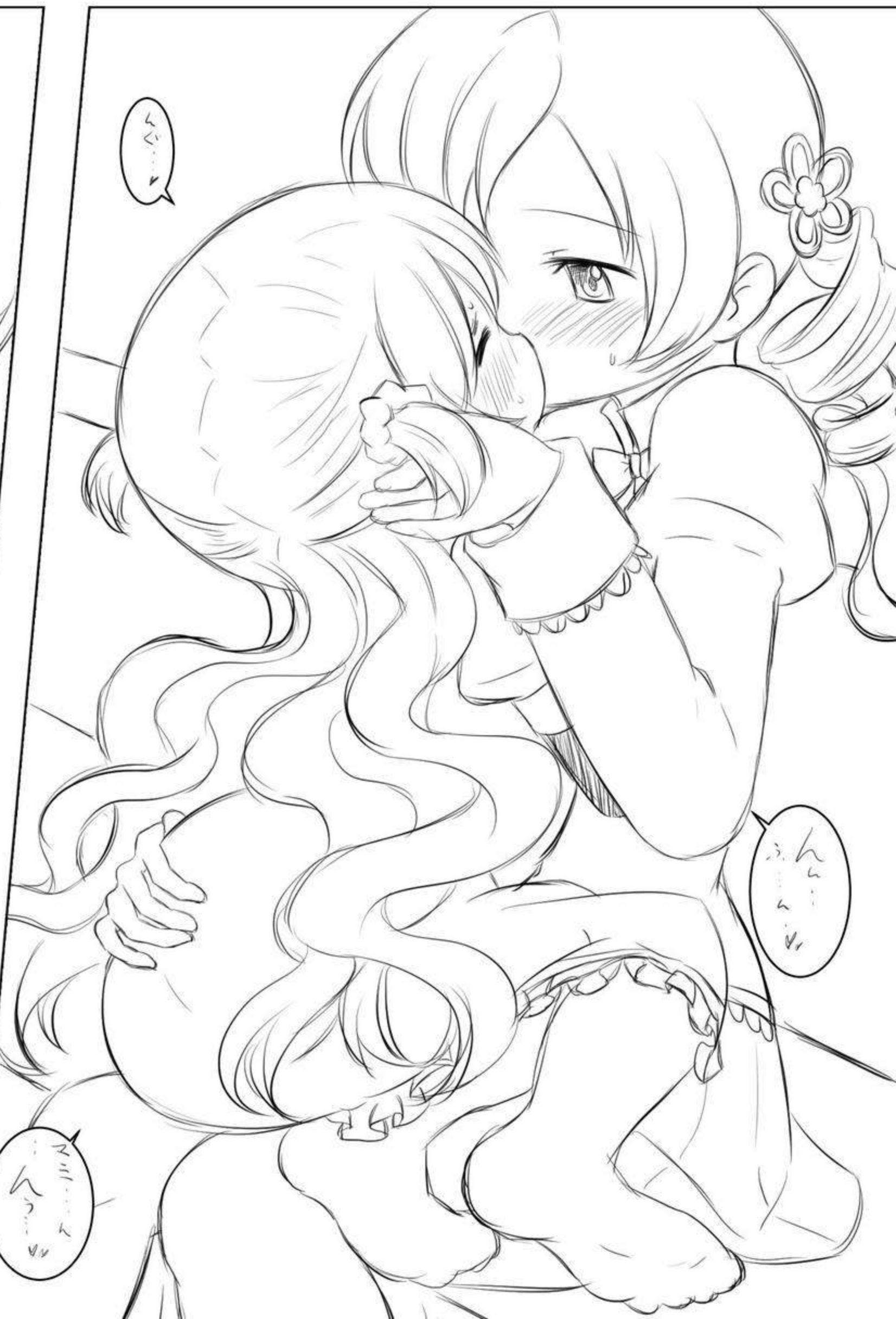
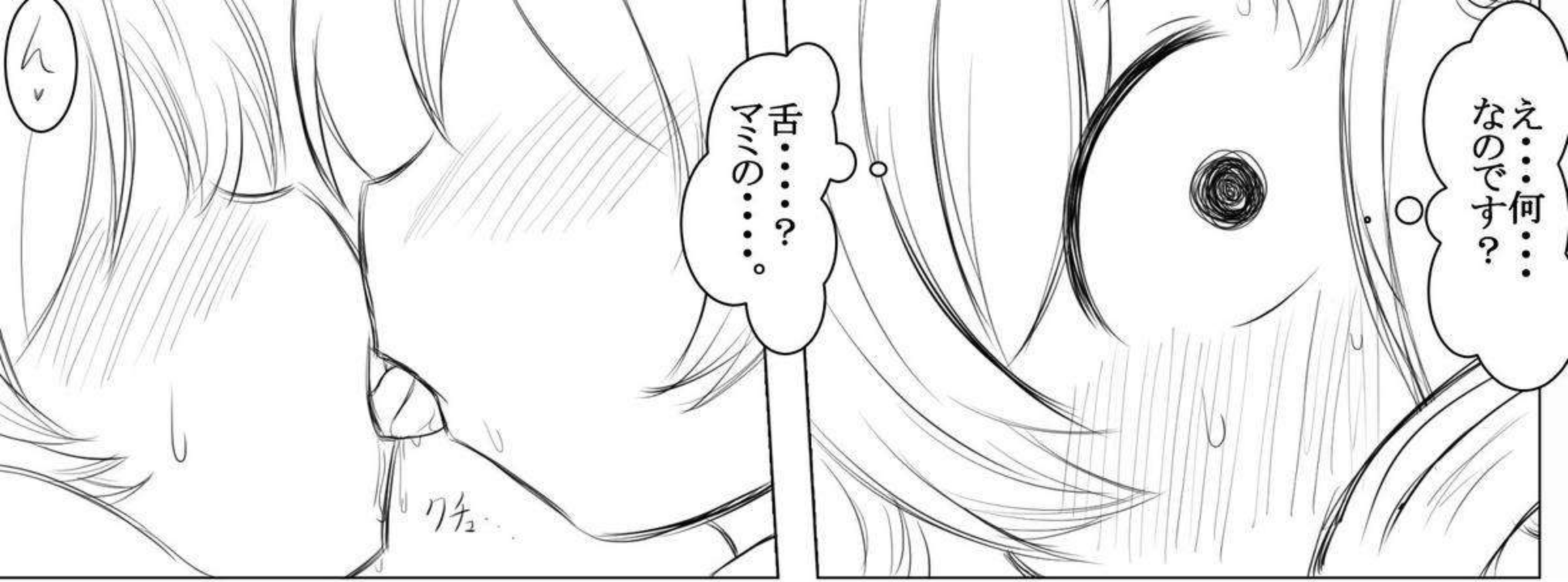
ニユル...

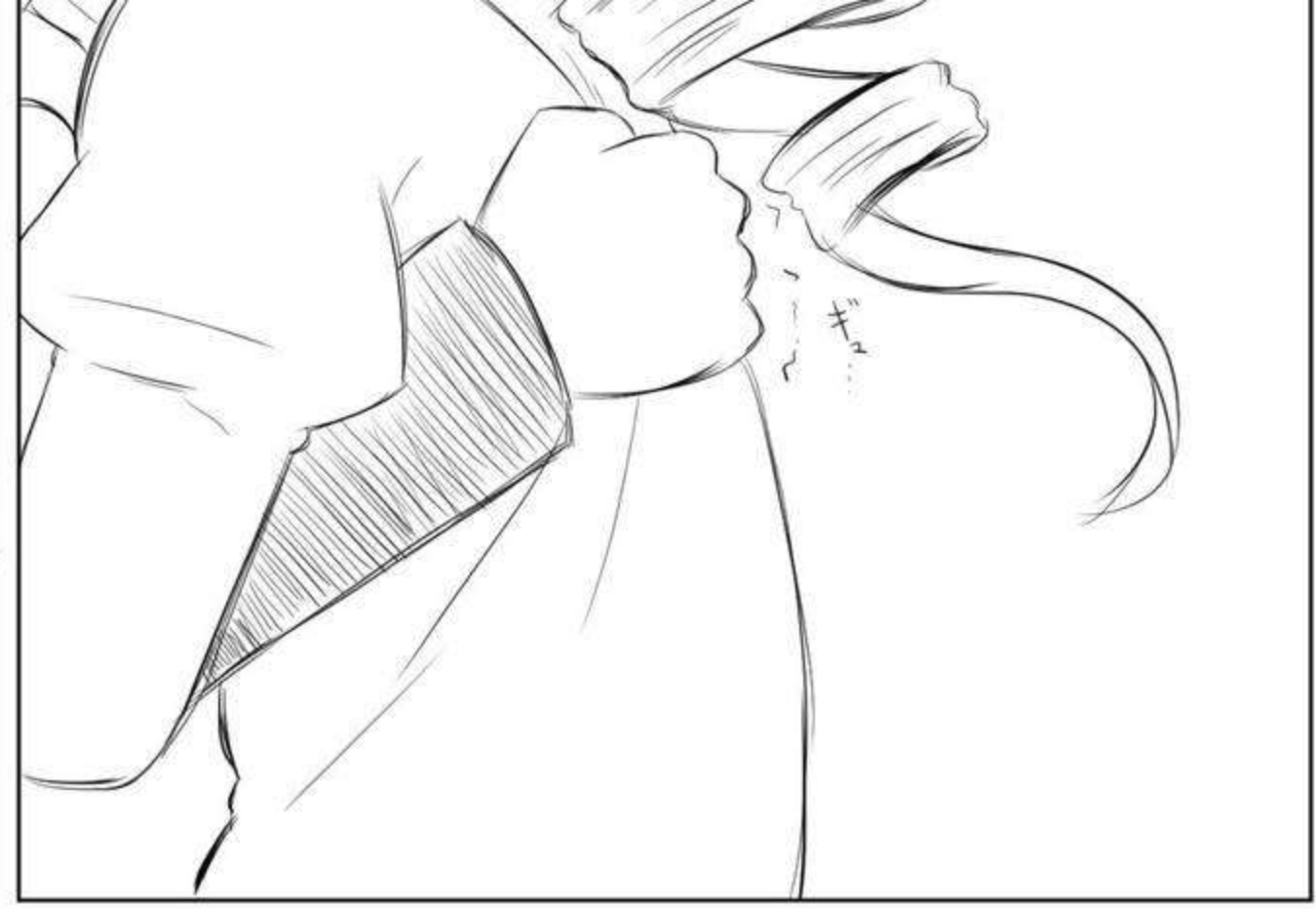


む...!!?

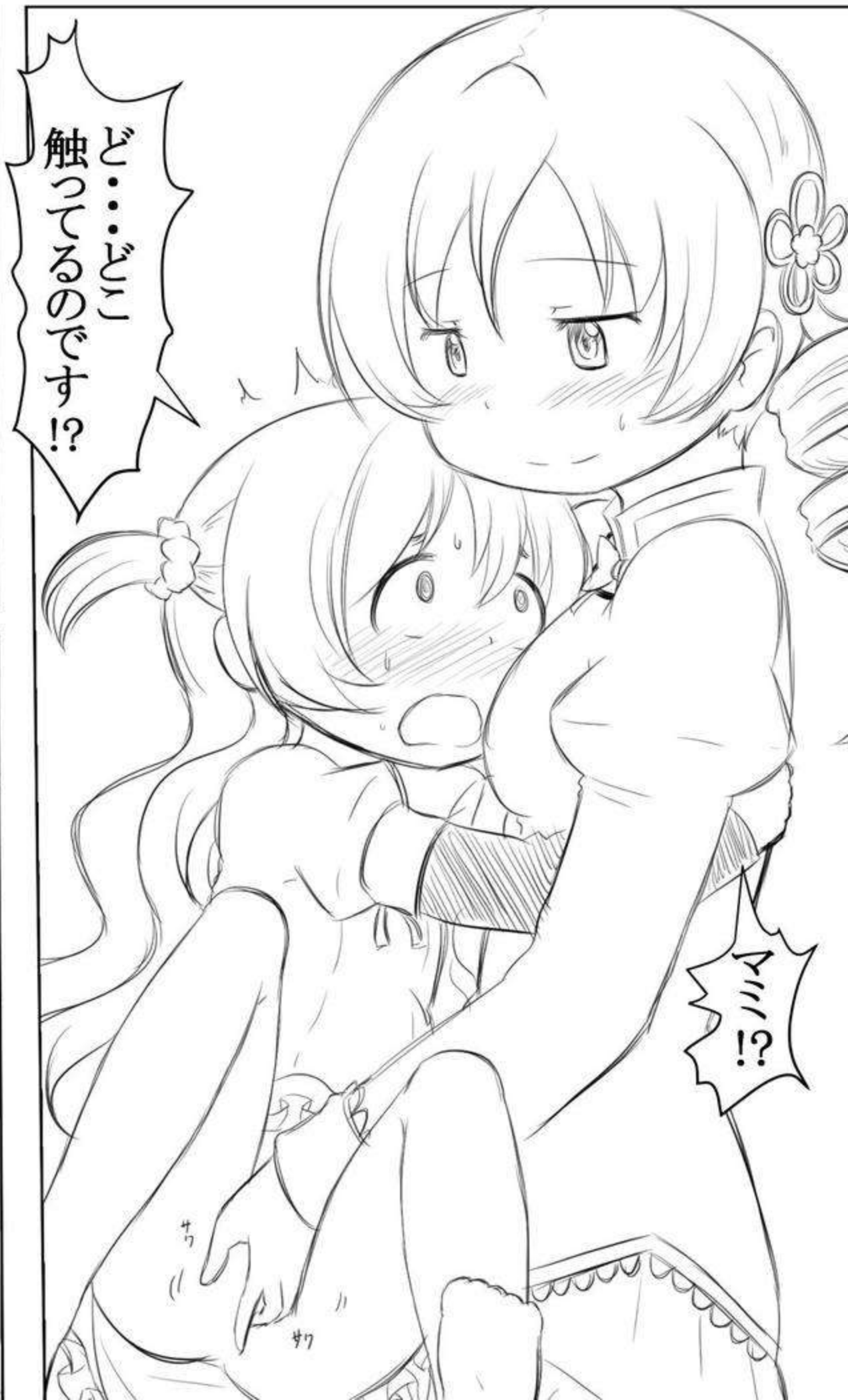
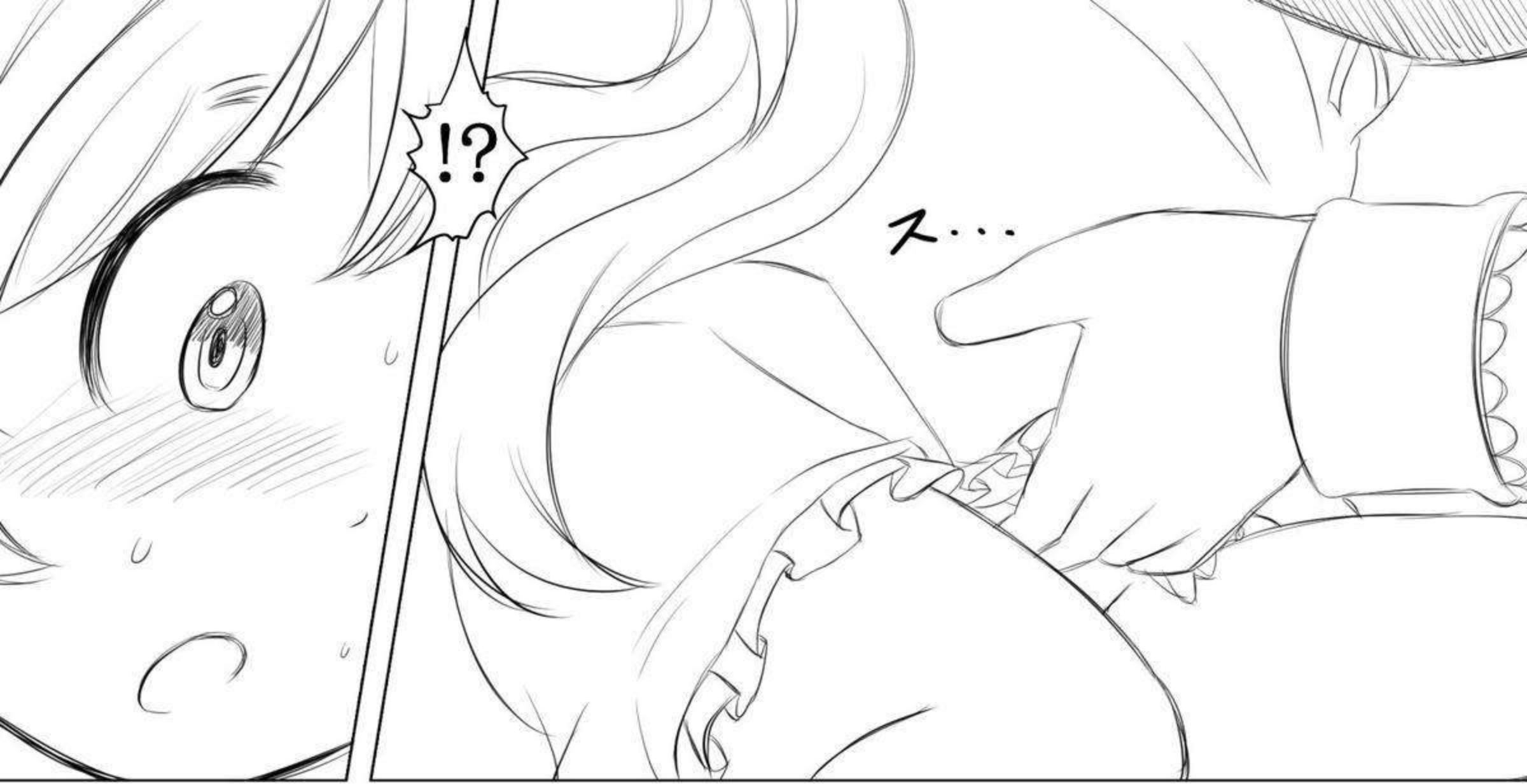
キュッ

















ど…  
どうしたの？  
痛かった？

違うのです！

だ…だって「濡れてる」って  
言うから…

ママの手が…  
汚れちゃうのです…



…じゃあ…  
ママに…任せるのです。

フフ、良い子ね…  
素直でよろしい。



ウソ言っちゃダメよ？  
大丈夫だから…  
私に任せて…？

…  
…  
…  
キなのです。

そんなの気にしないわよ。  
そのままじゃ辛いでしょう。



…じゃあ  
脱いじゃおつか。

!?



え……!?  
ぬ……脱ぐのですか!?

当然よ  
大事な洋服が  
濡れちゃうわ。



なぎさやんは  
こういう事  
はじめてだものね。

当然なのです……  
ママは初めてじゃ  
ないのですか?

フフ……  
気になる?

……  
べべつに  
そんな事……。

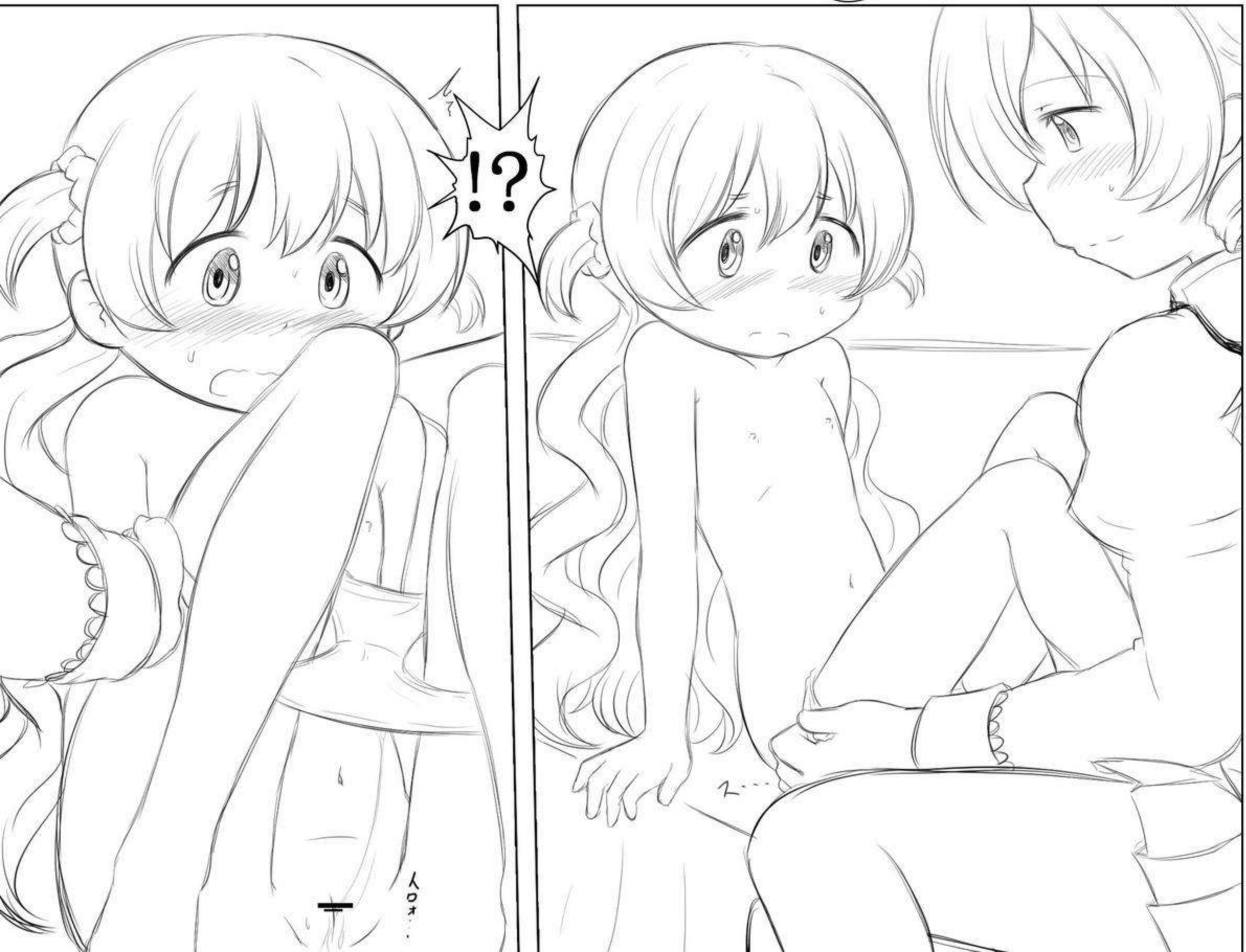


誰かにしてあげるのは  
初めてよ……

誰かにつて……  
一人でも出来るのです?

そ……そうね。  
それはまた今度  
教えてあげる。

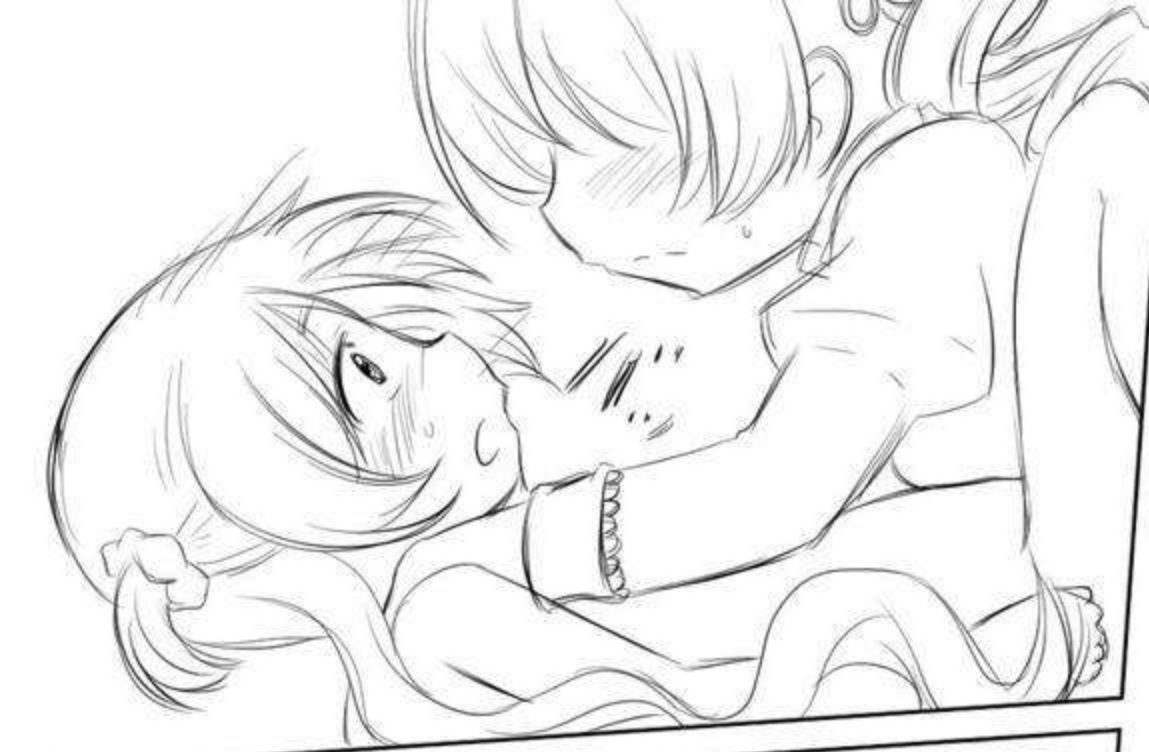




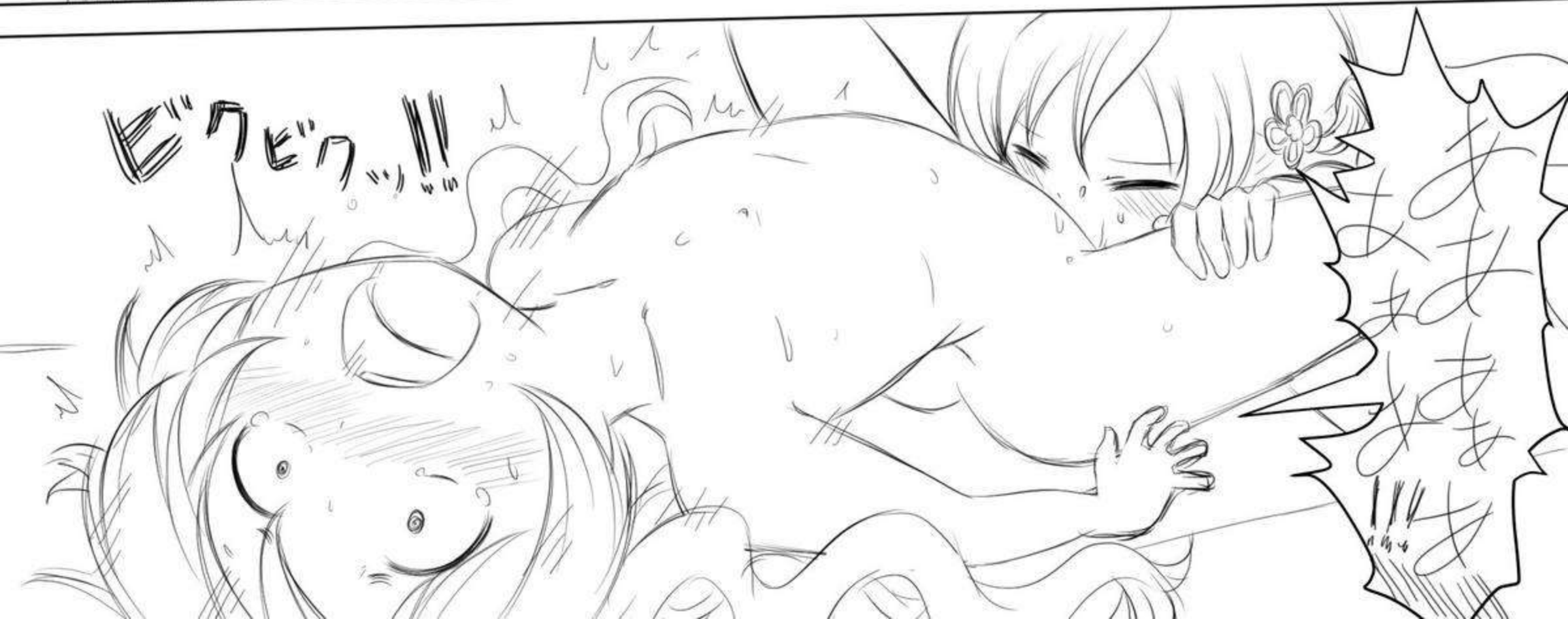
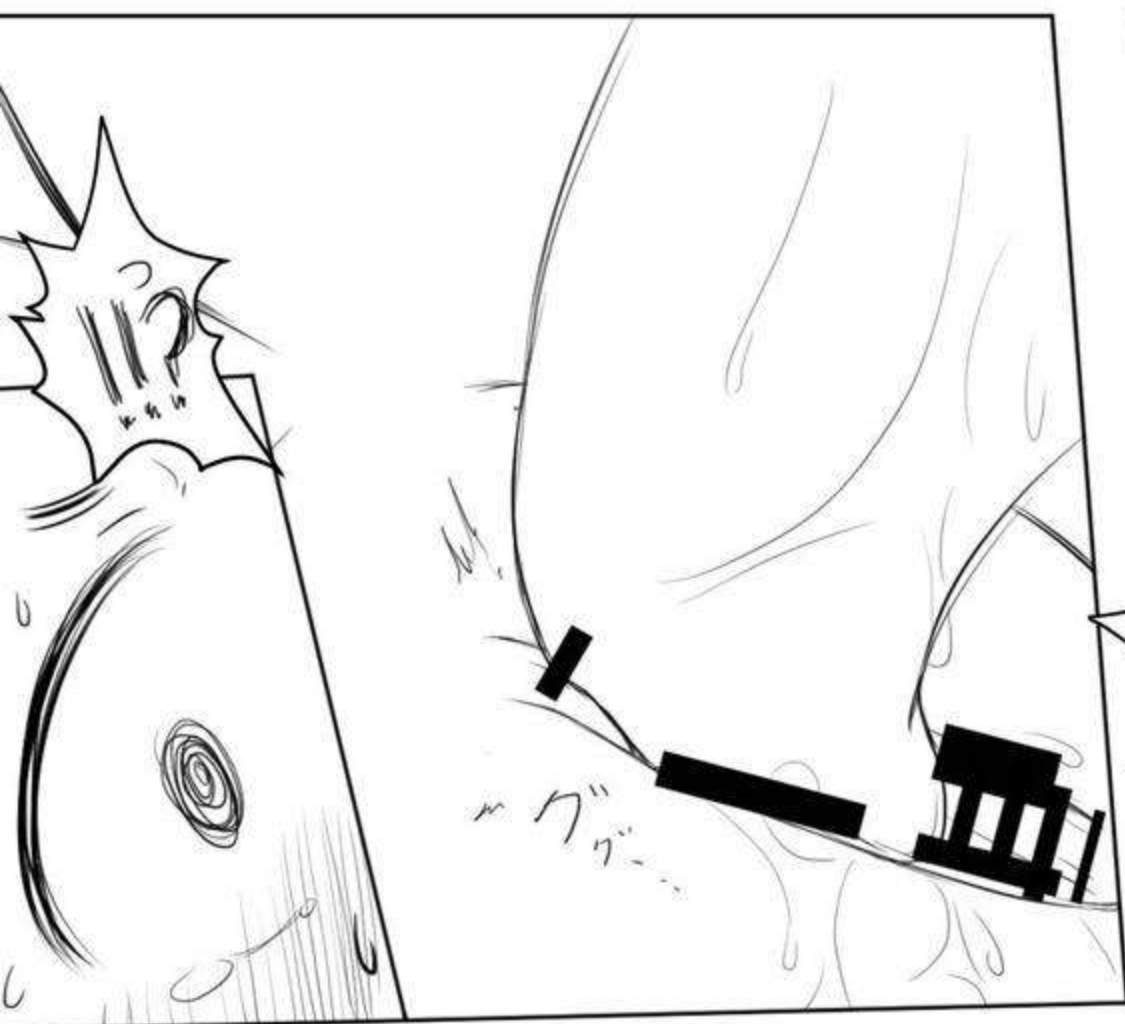


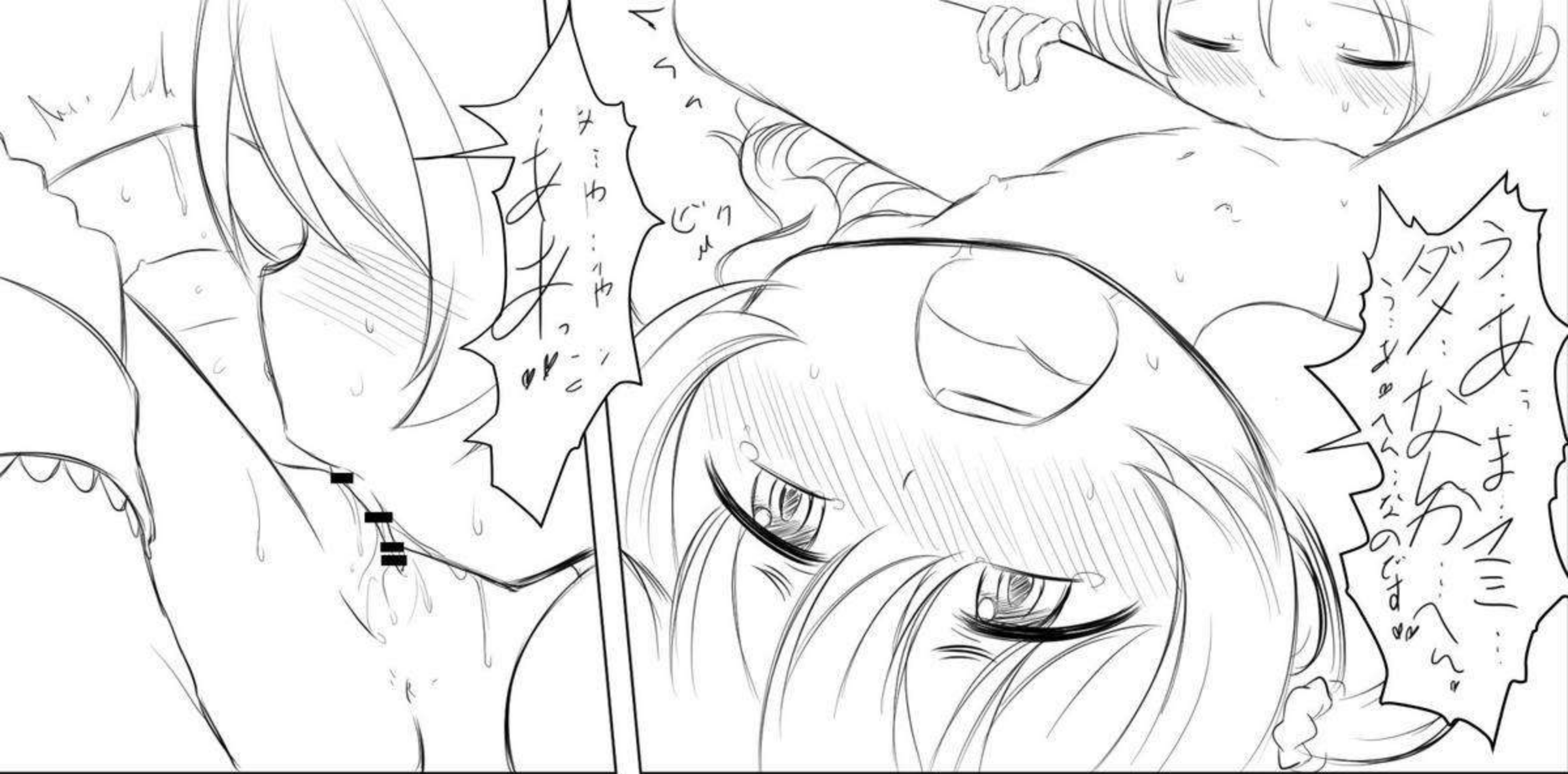










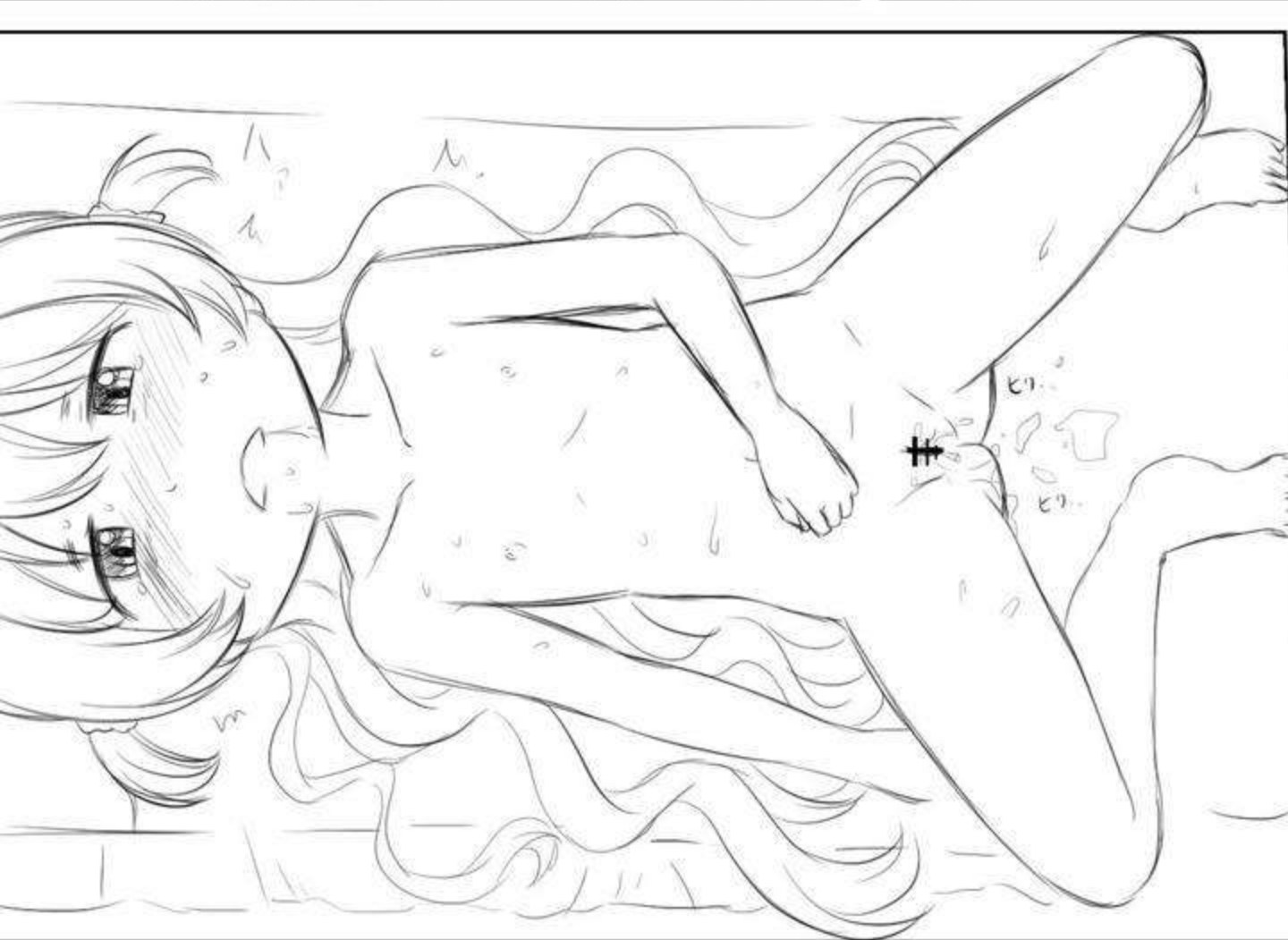






ままみ

まみま  
まみま



なぎさちゃん…すごい。  
いっぱい溢れてる…。



え？

まみ…  
起きてください。



頑張ったわね、えらいわ。  
痛くなかった？



ええ…  
分かったわ。

はい…もう…  
ビックリしたのです…  
いきなり舐めるなんて





あらすじ  
マリンさんはなぎさちゃんに  
押し倒されたのでした。

してあげるって  
……えっ？

あ……あの  
なぎさちゃん？  
私は別にいいから……

そんなのダメなのですよ。  
なぎさにばかり恥ずかしい  
思いをさせる気なのですか？

そんなの  
許さないので！

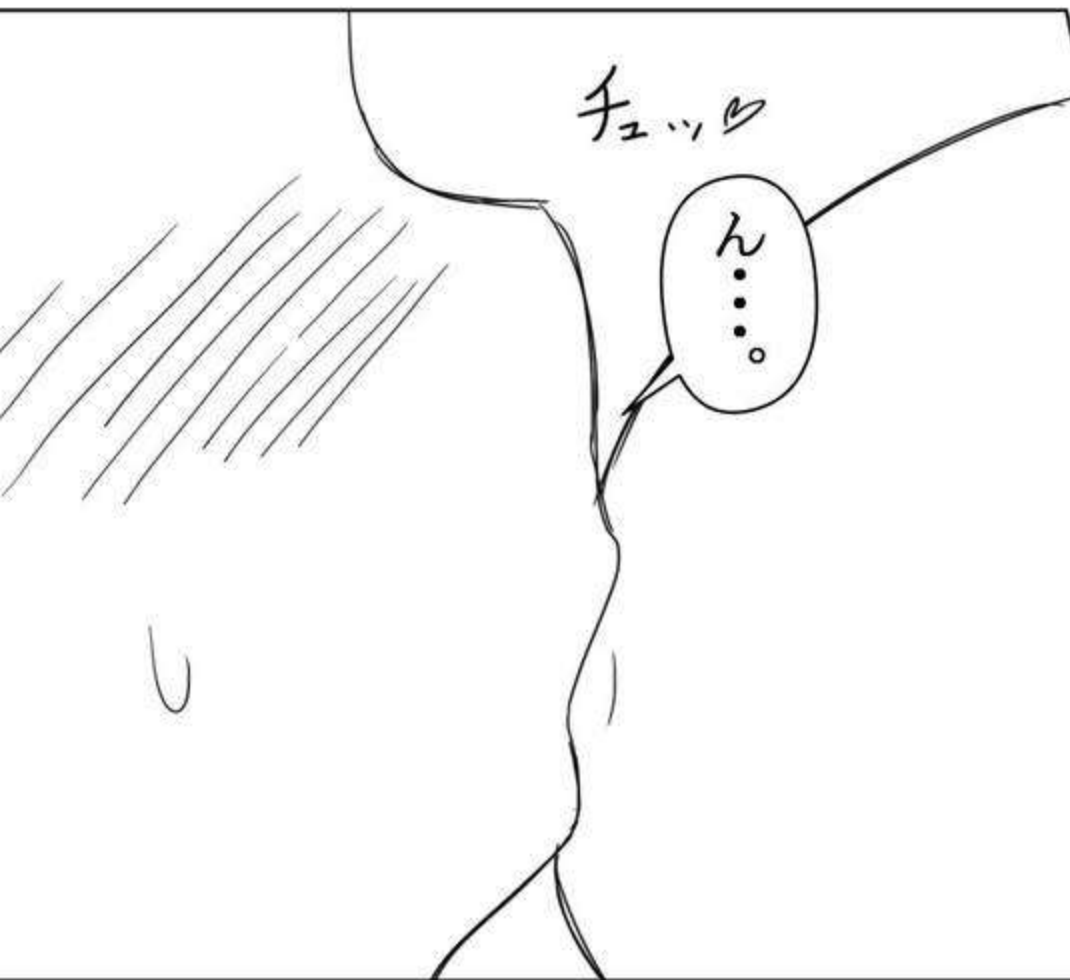






ポロポロ

!!





はあ

ん



なぎさちゃん  
……もう……  
だめ……!!

チュッ  
……  
チュッ



は……

ビクッ

あう



えへ  
まだダメ  
なのですよ。



うわぁ……  
ピンピンなのです

スウー……

ハア……ハア……  
なぎさ……ちゃん……  
もう十分でしょう。



ドサッ

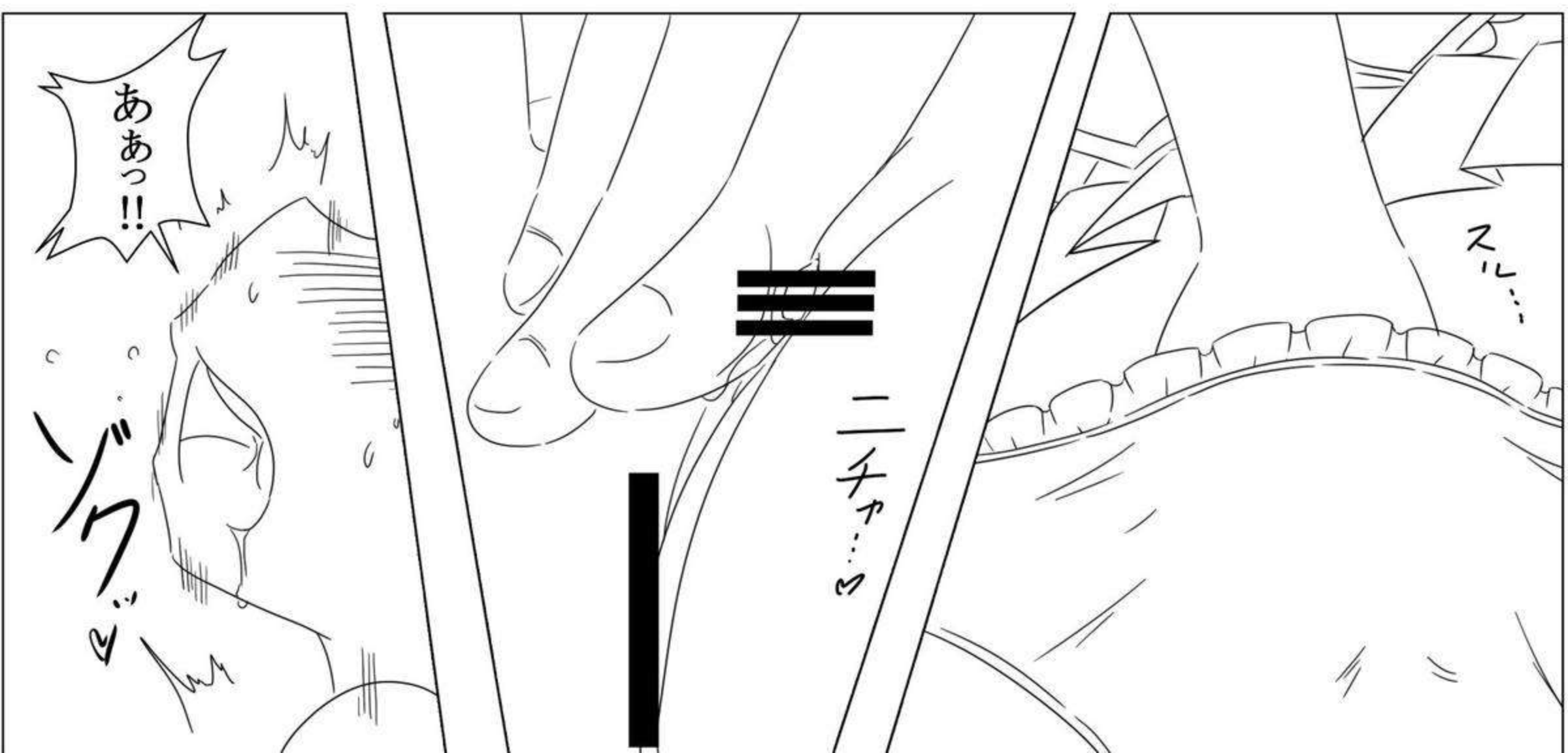
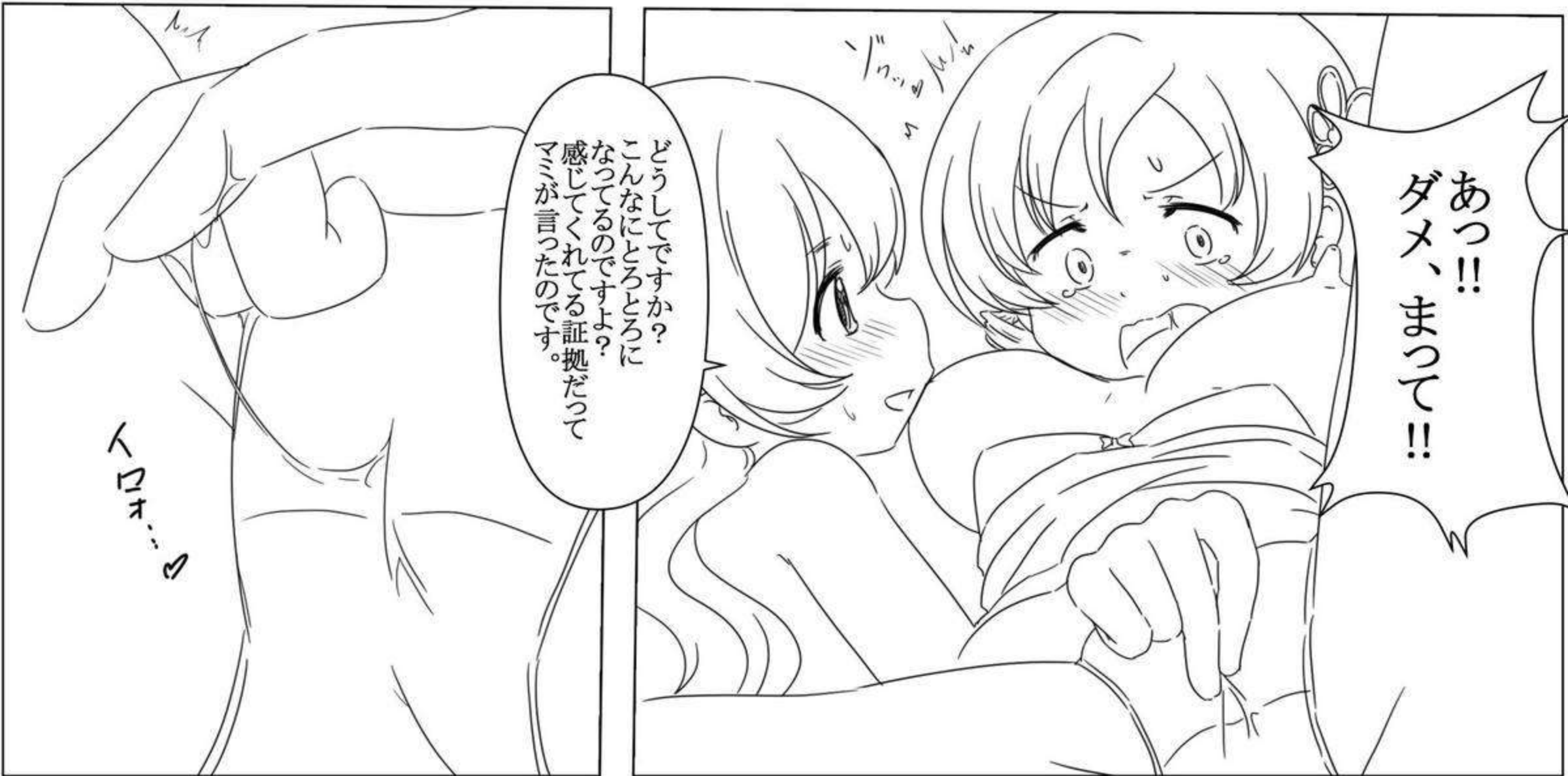


いや、あの……  
そうじゃなくて  
その……わっ!



遠慮しなくても  
良いのですよ。  
なぎさがマシを  
満足させてあげるのです。







途中でやめたら  
辛いのですよ...  
最後までして  
あげるのはです。





うわあ...  
すごい反応  
なのです。

うわあ...  
うわあ...  
うわあ...

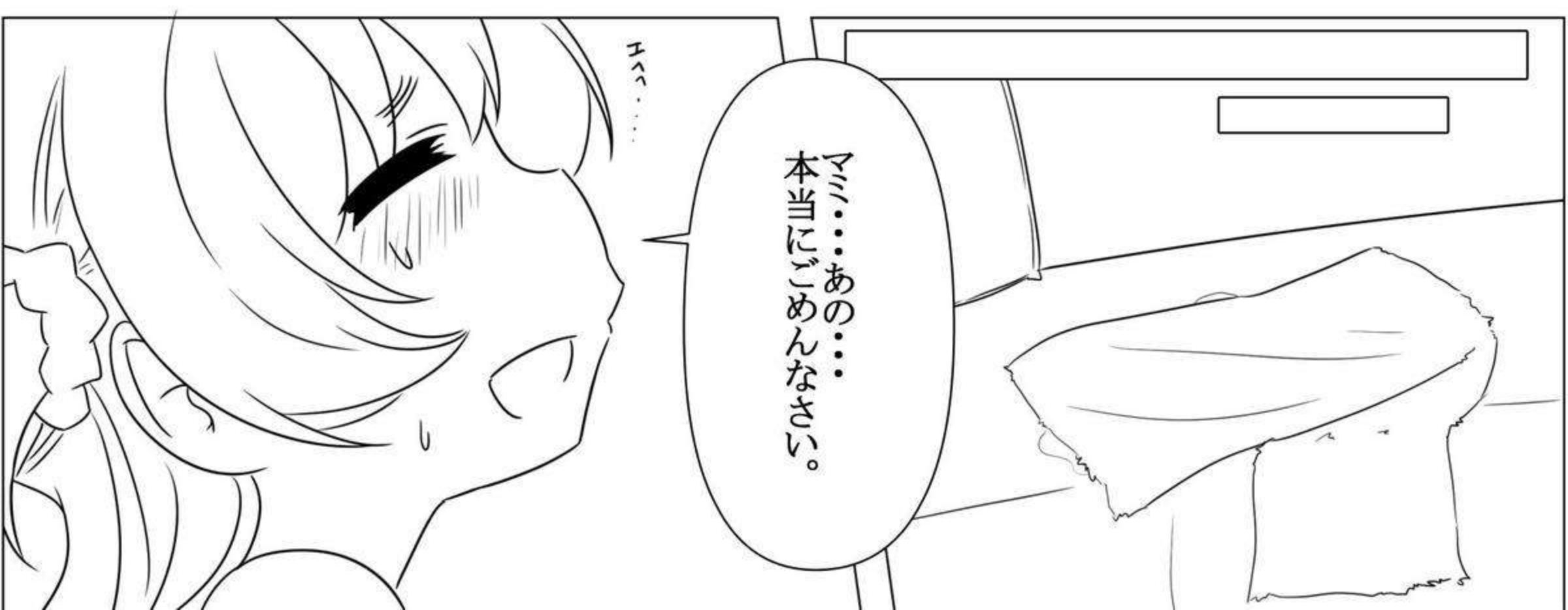
もう触ってるだけで  
びちやびちやなのですよ...  
いっぱい感じてくれたのですね。

?



あれ...?  
なんだか止まんないのです。  
なんで...あ。

あー...



マニ...あの...  
本当にごめんなさい。

ハッ...

でもお手洗いなら  
ちやんと行つてくれないと  
わかんないのです……

だからダメって  
言つたのよ……

ママに喜んでもらいたくて  
つい調子に  
乗ってしまったのです。  
ごめんなさい……  
怒ってますよね。

……  
おこつてない。  
ケド……

え？

最初に始めたのは  
私だし……それなのに  
こんなはしたない事しちやつて  
格好がつかないわ……

なぎささちやんの事  
ガツカリさせちやつたんじゃ  
ないかって……

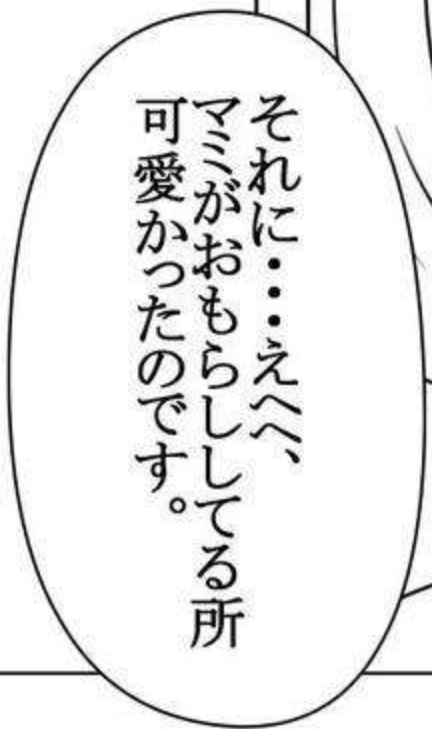
な……  
何言つてるのですか！

なぎさはそんな事で  
ママの事かこわるいなんて  
思わないのです！





な!?



それに...えへへ、  
ママがおもらししてる所  
可愛かったのです。



...じゃあ。



ええ...!!  
ごめんなさい!!  
でもホントなのです!

なぎさは  
どうすれば...

ぬいぐるみ...  
やっぱ許さない...



一緒に?

えーと...



じゃあ一緒に...  
してくれる?  
私と...



ズン

ズン

ギョッ

ぐちゃぐちゃ

ギョッ

ぐちゃぐちゃ

なんじゃあ、  
お風呂の  
お湯が  
あんなに  
熱いのか  
と、おぼ  
ろおぼろ  
と汗をか  
きながら

は

ぐちゃぐちゃ

ぐちゃぐちゃ

ギョッ...

お風呂の  
お湯が  
あんなに  
熱いのか  
と、おぼ  
ろおぼろ  
と汗をか  
きながら

ぬ  
ち  
あ

ぬ  
ち  
あ









Prin... Prin...  
SUNAMI...!!



なぎちちちゃん...  
私...もう!



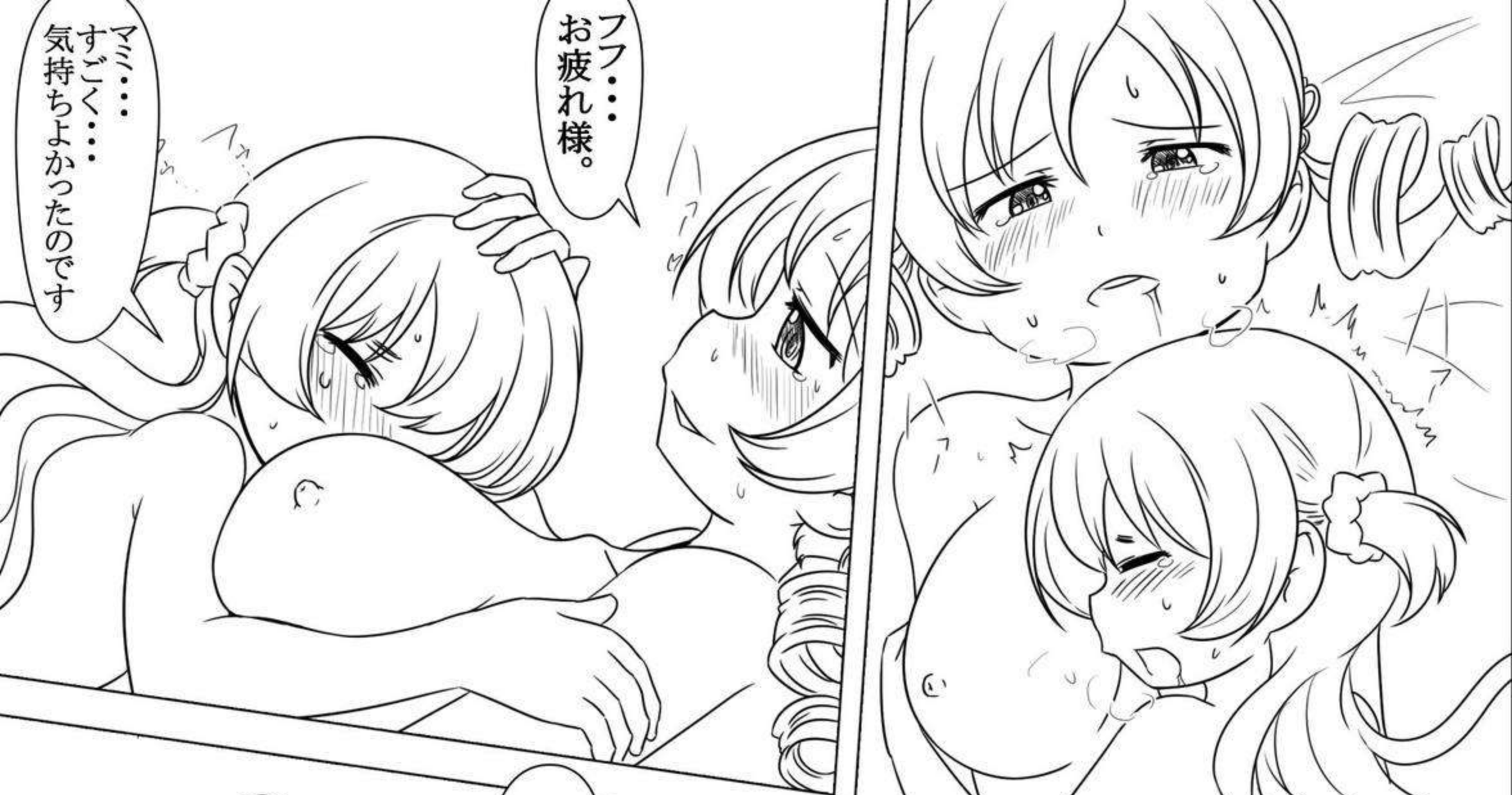
クッ  
クッ  
クッ

クッ  
クッ

クッ  
クッ  
クッ

クッ  
クッ  
クッ





フフ……  
お疲れ様。

ママ……  
すごく……  
気持ちよかったです



私もとっても  
気持ちよかったですわよ。

本当ですか……

なぎさちゃん  
とっても上手ね。  
フフ……

ママ……





あれから  
ママと長いようで短い  
二人の時間を過ごしたのです。

日が変わるまで……

巴人

その後は  
いつも通りの時間。

学校から帰れば  
みんなとお茶の時間。  
なぎさの大好きな皆との時間。

そしてまた——

始まるのです。

ふたりの時間が

おしまい。

